

1 基本的考え方

- (1) 今後10年間の北海道を見通すと、現在招致を目指している冬季オリンピック・パラリンピックや、北海道新幹線の札幌延伸までの間、多数の大規模なプロジェクトが待ち受けている。とりわけ、来年度は、民族共生象徴空間（ウポポイ）のオープンや東京2020オリンピックのマラソン・競歩等の札幌開催といった、北海道ブランドを世界に強く発信できるイベントが予定されるなど、本道の成長を加速する重要な1年。
- (2) こうしたチャンスを活用し、本道が国内外に誇る「力」を最大限引き出し、新たな段階へ押し上げていく必要。
- (3) 様々な課題に正面から向き合い、民間の知恵やノウハウを結集し力を合わせ、また、本庁と振興局が連携し、地域と一体となった取組を進めていく必要。その上で、本道が、全国が抱える課題の解決に向けたフロントランナーとなることを目指して政策を展開。
- (4) こうした考えのもと、「北海道・新時代」の実現に向け、全庁が一丸となって新たな第一歩を踏み出す政策を実行。

2 重点的に検討する政策と方向性

(1) 北海道の新たなステージを切り拓く

- ① 東京2020オリンピックのマラソン・競歩・サッカー競技の札幌開催を契機とする北海道の活性化
- ② 「ウポポイ」開設を捉えたアイヌ政策の推進
- ③ 縄文世界遺産登録を見据えた価値の深化と未来への継承
- ④ あらゆる好機を活かしたインバウンドの誘致促進
- ⑤ 道産食品の輸出拡大へ向けた戦略的取組の推進

(2) 北海道の活力を確かなものにする

地域・産業

- ① Society5.0時代に向けた未来技術による地域・産業の振興
- ② 持続的な交通・物流ネットワーク形成の推進
- ③ 北海道ブランドを活かした海外戦略の新たな展開
- ④ 北海道を応援する方々や市町村と一体となった地域の創生
- ⑤ 国土強靱化の推進と安全・安心の確保
- ⑥ 国際貿易交渉の動向を踏まえた取組の推進

人材

- ① すべての子どもたちが幸せに育つことができる社会の実現
- ② 多様な方々が働き、経験や能力が発揮できる就業環境の整備
- ③ 誰もが生涯、元気に活躍できる社会・環境の創出

3 政策検討のあり方

- (1) 関係部局の連携強化等
- (2) 官民連携の取組の強化